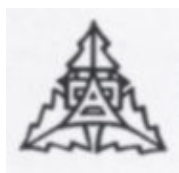


「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No. 6

令和4年8月31日発行 校長 太田 等

学校の教育目標

知 よく考え表現する子

徳 心豊かで思いやりのある子

体 進んでやりぬくたくましい子

大自然から学ぶ

太田 等

今月18日に第2学期がスタートしました。始業式では「瞳が輝く2学期に！」をテーマに、「『チャレンジ』『振り返り』『相手の目を見て、話す・聞く、挨拶』『ありがとう』の心をもって行きましょう！」とお話しました。各学級で子ども達は、2学期の目標を立て、心新たに出発しました。

現在は、9月3日に開催される運動会の大成功に向け、高学年がリーダーシップをとって練習に取り組んでいます。3年ぶりに本来の姿に近い運動会を開催いたします。

今年のテーマは、「過去の自分を超越、全力で頑張る運動会」です。高学年が応援合戦などで、下の学年の子ども達をぐいぐい引っ張っています。久しぶりの活発な縦割り活動で、子ども達はとても生き生きしています。また、ある日の給食が終わった昼休みでは、廊下から、「ヨヤサ！ ソレソレソレソレ」と大勢の威勢のよい声が聞こえてきました。見にいくと1、2年生に上の学年の子ども達がよさこいの踊り方のお手本を見せているとのことでした。このように、子ども達の運動会への意気込みは日に日に高まっています。

当日は、これまでの取り組みの成果を十分に発揮してくれることと思います。今回の観覧は、保護者とその家族となっておりますが、子ども達の一生懸命取り組む姿に惜しみない拍手を送っていただければと思います。

過日、職員室に一人の児童が満面の笑顔で「とれた！」と、土のついたニンジンを生方に見せにきました。学校農園から収穫したものです。明日から実りの秋に入ります。この時期、私は全校朝会などで、自然は「正直」ということを子ども達に話すようにしています。より良い肥料を与えるなどの条件を整えれば、作物はそれに応じてより良く育ち、そうでなければ、貧弱になったり、病気に負けたりします。人の成長も全く同じです。

本校に「明るく、清く、逞しく」という校訓があります。この校訓に向かう取り組み自体が、よりよき心を培っていきます。「明るく」というのは、「正直」ということです。今の時代、価値を創造できる人材が待望されています。しかし、その根幹は、「正直な心」です。

正直は、何が正しく、何が良くないかということ判断できる力。単に人に同調したり、過度に付度したりすることなく、ありのままの自分でいられるという清らかな人間らしい姿でもあります。また、正直とは、自然との共生です。自然は、明確であるとともに、威厳です。おかしいことをすれば、必ずそれに応じて結果が表れます。その意味から、正しく価値ある目標をもって進む人は、自然と共生しているといえます。これらの力が価値を創造する基にもなるからです。

本校の校歌の最後に「勤しむ我等幸多し」という歌詞があります。これは「正直に挑戦を続ければ幸が増す」ということを詠っています。自然との共生は、このように正しい行いが幸せになるように、助け、危険なことから守っていくことでしょう。

明日から9月。子ども達が、これからも農園活動等を通して大自然から様々なことを学び、正しい心、正直な心を培っていけるよう全職員と共に尽力して参ります。